



多くの観客が見守る中、みごとな操法を披露

# 22年ぶり出場 全国7位に入賞果たす 全国消防操法大会

各都道府県を代表する消防団員が一同に会して消防技術を競う、第21回全国消防操法大会が、10月12日、東京ビッグサイト（東京都）で開かれ、鳥取県代表として、日野町消防団第1分団の5人の選手が小型ポンプの部に出場しました。

悲願の全国大会  
練習の成果惜しみなく

出場した選手は、谷口若雄さん（指揮者、下榎）、奥田研二さん（1番員、本郷）、佐野精彦さん（2番員、根雨）、西村和宏さん（3番員、根雨）、藤原康洋さん（補助員、根雨）の5人。7月の県大会で優勝し、全国大会に出場が決まっていた。さらに練習を重ね、本番に備えてきました。

全国大会へは、宮脇光男団長はじめ消防団員や、景山享

弘町長、佐々木秀明議長や消防委員らによる応援団も同行し、選手を激励しました。

小型ポンプの部には、23チームが参加し、日野町消防団は5番目に出場しました。選手らは、きびきびとむだのない動作でポンプを操作、7位入賞を果たし、優良賞を受賞しました。

日野町消防団が全国操法大会に出場するのは22年ぶり、入賞したのは、昭和55年の小型ポンプの部での準優勝以来、28年ぶりとなります。



左から、谷口さん、奥田さん、佐野さん、西村さん、藤原さん

# 延べ1500人で盛大に

## 生きいき「ひの」ふれあいまつり



黒坂小児童によるかわいい銭太鼓

3部門のほか抽選会も

生きいき「ひの」ふれあいまつりは、展示、即売、芸能の3部門で行われる、まちの一大イベントです。

山村開発センターで行われた展示部門には、町内の19団体が出品。手芸品や書道、写真、絵画、ちぎり絵などの作品が一堂に展示され、観客の

目を楽しませました。

役場前で行われた即売部門では、17団体が農産物や食品などを販売したほか、栗まんじゅうなどの屋台コーナーもにぎわいました。

19日には文化センターで芸能発表が行われ、10団体がコーラスや吹奏楽、演劇などを披露し、大きな拍手が送られていました。また、例年2日目に行つて

いたお楽しみ抽選会を、今回は2日間とも行い、参加団体からの計約180本の景品が当選者に手渡されました。

山村開発センターでは、総務省や放送事業者の協力による地上デジタル放送体験コーナーもあり、来場者は、アナログとデジタルの映像を見比べ、美しいデジタル映像に感心しながら眺めていました。



毎回人気の農産物特売



いずれも力作ぞろい



地デジ受信相談窓口も設置



抽選券配布に多くの人が